

# 帯広市図書館からこんなことを発信しています。

その97 おはなし会と朗読会

## おひさまおはなし会 「ひなまつりスペシャル」

平成27年3月1日(日) 11:00~11:40

\*帯広図書館友の会「おひさま」によるおはなし会です。  
かみしばいやエプロンシアターなど、楽しいおはなしがいっぱい  
です。参加のお子さまには、プレゼントも用意しています。

## ミニ朗読会～市民文藝を読む～

平成27年3月7日(土) 13:30~15:30

\*文芸サークル「萌えの会」による朗読会です。市民文藝に掲載  
された優秀作品を執筆者自らが表現豊かに朗読します。  
そのほか、萌えの会会員の習作発表もあります。

場所：帯広市図書館 1階多目的視聴覚室  
申込不要・参加無料

お問い合わせ 帯広市図書館 電話：0155-22-4700



### 今月の特集

★帯広市図書館から、こんなこと  
を発信しています。

【おはなし会と朗読会】

★テーマ別オススメ資料

【書誌学～新刊を中心に…】

★図書館をもっと身近に暮らしの  
なかに

【春分の日 おはなし会】



CITY  
LIBRARY

2015.3 vol.99



フードバレーとがち

帯広市図書館

# よむ☆トショ

テーマ別に図書館のオススメ資料をご紹介します!

## この2年に出版された 読書周辺の本

毎年3月のタイムズは図書館をもっと知ってもらいたい、読書の世界を楽しんでほしいという願いから、書誌学や図書館学の本を紹介しています。おすすめ本を紹介するものから、出版や書店、図書館に関わる人たちが仕事を熱く語るものまで幅広く用意しました。どの本も、読書好きな方なら共感すること間違いなし、苦手な方には興味を惹くこと間違いなしです。今回は、2013年から2014年に出版された本を中心にしています。

**BOOK** 『ポケットに物語を入れて』 角田光代; 著  
小学館 2階一般 請求記号(019.9カ)

クオリティの高い作品をコンスタンスに発表しながら、書評やエッセイにも定評がある角田さん。この本では書店での本選びのコツや、このように読んだという感想を友だちに打ち明けような親密さで語りかけてくれます。

**BOOK** 『読書脳』 立花隆; 著  
文藝春秋 2階一般 請求記号(019.9タ)

徹底した取材と資料探査で有名な立花さんは、本に埋もれて暮らしています。今、この瞬間に読むべき本を見つけ出す嗅覚で300冊の本を紹介しています。若い人の読書傾向が変化してきたことについて、東大図書館の石田さんとの対話も読書の未来を考えるうえでとても有効な思索の手がかりになります。

**BOOK** 『ぼくは、図書館がすき』 漆原宏; 著  
日本図書館協会 2階一般 請求記号(016.21ウ)

「本を読む人の写真」と言えばこの方!と業界内で唯一、図書館写真家漆原さん。全国の図書館で日々繰り返されている日常を感じることができます。多様な活動を始めた図書館の新しい姿を見る事ができます。帯広市図書館も登場しているので探してください。どの写真にも本を伴立ちに笑顔の花が咲いています。

**BOOK** 『疎開した四〇万冊の図書』 金高謙二; 著  
幻戯書房 2階一般 請求記号(016.21カ)

昭和19年太平洋戦争末期、旧都立日比谷図書館の40万冊の資料を戦禍を逃れるため疎開させました。図書館員は大八車で学生はリュックに本を詰めて1年がかりの大移動の記録です。その後、日比谷図書館は空襲で全焼。

**BOOK** 『読む力が未来をひらく』 脇明子; 著  
岩波書店 2階一般 請求記号(019.2ワ)

子どもたちの生きる力を育てるための読書を実践、報告してきた著者のシリーズ完結編。小学校低学年の絵本から一人読みへの移行をどのように導くか、朝読に悩む先生、保護者の方にはぜひ、読んで欲しい。

春らしくて暖かい陽気で、雪解けも進みました。3月3日は、新図書館の誕生日。利用者のみならずボランティアの方に支えられ、育てられ、昨年11月には来館者400万人を超え、今月9周年となります。これからも頼まれ、頼りにされ、通いとなる地域の図書館として、図書、雑誌などの充実はもとより、季節や事象に合わせた特集コーナーの設置や知りたい、調べたいを解決するお手伝い、おはなし会などの各種行事を実施してまいります。どうぞ気軽にご利用ください。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3月のカレンダー  
色のついている日は休館です。

**BOOK** 『乙女の読書道』 池澤春菜; 著  
本の雑誌社 2階一般 請求記号(019.9イ)

祖父は福永武彦、父は池澤夏樹という作家を家族に持つ声優の春菜さんの自伝的読書遍歴エッセイと親子対談です。重度の活字中毒で小さな頃から読書が大好きなことが証明される1冊です。好みのジャンルはSF、SF作家クラブ会員でもあります。

**BOOK** 『読まれた図書館』 小林聡美; 著  
宝島社 2階一般 請求記号(019.9コ)

女優の小林聡美さんがいろいろな人から勝手に推薦された本を読んで書評を書くという趣向。推薦人たちの紹介文・小林さんの感想、微妙な熱量の違いが面白い。1冊の本にじっくり向き合い言葉を紡ぐ誠実さが見えます。作家よしもとばなさんと爆笑対談も収録されています。

**BOOK** 『縁もたけなわ』 松田哲夫; 著  
小学館 2階一般 請求記号(021.43マ)

筑摩書房編集者として400冊以上の本を手掛けた松田さんが出会ってきた人々を楽しく紹介しています。鋭い観察眼と会話やディテールを記憶する能力が優れていて、実際にお会いしているような気分になります。南伸坊さんのイラストも人柄を伝えてくれます。

**BOOK** 『本を愛しすぎた男』 アリソン・フーアー・パートレット; 著  
原書房 2階一般 請求記号(0024.9バ)

稀少な古書だけを巧妙に盗み続けた泥棒とそれを追いかける古本屋探偵。英米の古書業界のシステム、価格が高値になる仕組みなどもわかります。これほどまでに古書(初版本)が高騰し投機の対象になるとは驚きです。本泥棒を追いつめるスリルも味わえます。

**BOOK**



**BOOK**



**BOOK**



**BOOK**



**BOOK**



『困ったときには図書館へ〜図書館海援隊の挑戦〜』 神代浩; 著  
悠光堂 2階一般 請求記号(015カ)

資料の貸出・返却の手続きだけでなく、お客様の求める情報を提供する課題解決型図書館が目まぐるしく増えています。ビジネス情報、医療情報を積極的に収集、発信していく図書館海援隊の活動をまとめ可能性について論じた本です。

『京都図書館紀行』  
玄光社 2階一般 請求記号(010.21)

京都にある個性的な24館を紹介、どの図書館もふらりと立ち寄れる雰囲気や広く扉が開かれています。マンガミュージアムの「マンガの壁」に圧倒されたり、古都の歴史が濃縮された書庫ツアーに憧れたり…。観光だけではなく京都の新たな魅力発見。

『学校司書ってこんな仕事』 学校図書館問題研究会 ; 著  
かもがわ出版 2階一般 請求記号(017ガ)

学校図書館の管理・運営を担う人材として学校司書を配置する自治体が増えてきました。生徒たちへの読書案内や教師の授業支援、学校図書館を本棚が並ぶだけの資料室ではなく、図書館として機能させるための方法が事例に解説されています。

『つながる図書館』 猪谷千春; 著  
筑摩書房 2階一般 請求記号(016.21イ)

無料貸本屋から脱却して、地域を支える情報拠点に変貌する公共図書館の最前線を紹介しています。自治体が図書館を本気でプロデュースし、街づくりの中核に据えた時、地域の人々の生活にどんな好影響を与えるのでしょうか。

『書店不屈宣言』 田口久美子; 著  
筑摩書房 2階一般 請求記号(024.06タ)

大型書店ジュンク堂池袋本店副店長、書店員歴40年の田口さんは65歳になっても元気に現場で活躍中。今でも書店業界を折々にしたためてきました。今回は、目まぐるしく変化してきた書店業界を若い書店員の意見も取り入れながら記録しています。電子書籍やネット書店に負けまいとするリアル書店の戦い方と気概が見えてきます。

**BOOK** 『シェイクスピアを追い!』 エリック・ラスムッセン; 著  
岩波書店 2階一般 請求記号(022.33ラ)

シェイクスピアの死から7年後、1623年に刊行された最初の作品集はファースト・フォリオと呼ばれ、貴重な資料としてコレクターや研究者の注目の的。オークション、盗難、贋作など、この作品集に関する驚きのエピソードがドラマチックに綴られています。

**BOOK** 『ビジネス書の9割はゴーストライター』 吉田典史; 著  
青弓社 2階一般 請求記号(021.3ヨ)

タイトルに興味を持ち手にした1冊ですが、本当のことなのでしょうか?この本では、現役ゴーストライターがその仕事内容やカラクリについて具体的に述べています。ビジネス書全般をゴースト、詐欺と判断するか否かはこの本を読んでみなさんが判断してください。

# 図書館をもっと身近に 暮らしのなかに

春分の日図書館へ  
よみかせの会ババール  
スペシャルおはなし会

## 春分の日 スペシャルおはなし会 平成27年3月21日(土)

### 13:00~13:40

### 出演:よみかせの会ババール



よみかせの会ババールのみなさんによるスペシャルおはなし会を開催します。パネルシアターや手遊びなど、テンポがよくて、楽しいおはなしをたくさん用意しています♪

よみかせの会ババールは、子どもを持つママたちが主軸となって、幕別や帯広、音更などの各地域で読み聞かせや公演を行い、今年度結成20周年を迎えます！

2013年「十勝管内教育実践表彰」「道読書推進運動協議会優良読書グループ表彰」

2014年「幕別町文化奨励賞」受賞

**入場無料\* 当日受付** 家族みんなできてね



# ほんのまくら

その24の段

©紀伊国屋書店新宿本店

「続きが気になる本。」ございます。

つい、続きを読みたくなるような書き出しを紹介していきます。

物語をどんな言葉で始めるのか・・・、作家はとても悩むのですね。



- ① チョコレートやクッキーの缶に入れといわれても困りますけど。どろぼうのどろぼんはよくそんなふうにしたものだ。でもそれが家だったら、どこへだって入れますよ、って。
- ② 裏木戸を開くと、典幻通りへと向かう薄暗く細い路地が続いている。道の両脇には、生姜の酢漬けが詰まった甕が、簀の子に載せられて何段にも積まれており、甘酸っぱい臭いを放っていた。
- ③ 「こういうアンケート調査ってさ、いまどきはインターネットとか使ったほうが手取り早いし、いいんじゃないの」目の前の中年男性はボールペンを握り、バインダーに挟まった紙に記入しながら言った。
- ④ 暗い夜だった。月も出ていない。街灯も照らしていない暗い場所に彼は立っている。いくつかの影が持つシャベルの先が土を掘り返すのを、小さなライトの光が小刻みに震えながら照らしている。

さて、本のタイトルは・・・◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

- ①『どろぼうのどろぼん』 齊藤倫 福音館書店 91.3 サイト
- ②『機巧のイヴ』 乾緑郎 新潮社 913.6 イヌイ
- ③『アイネクライネナハトムジーク』 伊坂幸太郎 幻冬舎 913.6 イサカ
- ④『つちくれさん』 仁木英之 朝日新聞出版 913.6 ニキ